

事業承継学会2016年3月研究会

日 時：2016年3月11日（金曜日）18:00～20:00

会 場：同志社大学寒梅館 6階 大会議室

<https://www.doshisha.ac.jp/information/facility/kambai.html>

司 会：竇 少杰（立命館大学 経営学部 経営学科 助教・ITEC 嘱託研究員（共同研究員）、本学会理事）

主 催：一般社団法人事業承継学会

第一部 18:00～19:00

講演者：横澤 利昌

（ハリウッド大学院大学教授・学長補佐、亜細亜大学名誉教授、高野山大学非常勤講師、本学会理事）

演 題：西田哲学から経営（学）及び事業承継を考える

<講師プロフィール>

横澤 利昌（よこざわ・としまさ）1941年生まれ

1969年 早稲田大学大学院商学研究科修了、

一橋大学大学院後期課程・内地留学（雲島良雄研究室）

1985年～亜細亜大学教授、現在名誉教授

1989年～1990年ブリティッシュ・コロンビア大学大学院・

MBA コース客員教授

第1回～第10回・東アジア経営管理学会大会・代表

実践経営学会会長・経営関連学会協議会理事・

経営研究連絡委員（日本学術会議17&19期）幹事。

中小企業総合事業団、厚労省等委員等歴任。

現在 本学会 理事



■ 編著書 ■

『老舗企業の研究～100年企業に学ぶ伝統と改革～』

『ホスピタリティとフィランソロピィ』 税務経理協会

『顧客価値経営』 生産性出版

<講演要旨>

○経営は事業目的の達成であり、資本の運用であるから、経営を単に経済・社会等の存在として客観的、巨視的に外観するだけでなく、さらに進んで内から目的ある、計画ある営みとして内観し、しかも計画的に内外を統一する作用としてどこまでも主体的に見、行為的形成的に見るのである。現象として行動の結果を見るだけでなく、その目的を見、動機をたずね、成績を明らかにし、意味を考え、行動原理を求めなければならない。

○西田哲学は行為的直観として「作られたるものを作るものを作る」といわれるが、これはまた経済・社会の担い手・現代の基調的組織の世界にも妥当する。ここに経営学的見方の真髄を見る（故・山本安次郎・京都大学教授）。

○上記を踏まえて、事業の承継等を事例を用いて読み解き、意味を考え行動原理を求めていく。

第二部 19:00～20:00

講演者：中田 喜文（同志社大学大学院総合政策科学研究科教授、本学会理事）

演 題：京都ものづくり老舗 500 社の事業承継



<講師プロフィール>

中田 喜文（なかた・よしふみ）1955 年生まれ

1981 年大阪大学大学院経済学研究科博士課程前期修了

1986 年カリフォルニア大学バークレー校 Ph.D. プログラム経済学研究科修了

1998 年～2012 年京都地方家内労働審議会委員

2002 年～2003 年内閣府政策構想研究会

2011 年～2012 年中小企業政策審議会 企業活性化部会

2010 年～2013 年一般社団法人事業承継学会代表理事

現在 本学会 理事

■ 受賞学術賞 ■

1989 年日本労務学会研究奨励賞

1994 年沖永賞

1998 年 Noteworthy Books in Industrial Relations and Labor Economics

■ 研究業績（著書） ■

『Work and Pay in the United States and Japan』

『Have Japanese Firms Changed? :The Lost Decade』

『Increasing Labor Flexibility in Japan: The Role of Female Workers in Manufacturing』

『高付加価値エンジニアが育つ : 技術者の能力開発とキャリア形成』

『リストラと転職のメカニズム』

【研究会参加者 29 名】